

当会会員のアイシン北海道(株) (苫小牧市) が、
平成29年12月7日(木)付の、日刊工業新聞に紹介されました。

アイシン北海道 バルブボディー効率生産

新ライン 導入 バリ取りなど自動化

【札幌】アイシン北海道(北海道
苫小牧市、桂山直樹社長、0144
・53・7111)は、バルブボ
ディーのダイカスト工程でバリ取りな
どを効率化する新たな生産ラインを
導入した。現在は試験操業中で、2
018年春に本格稼働する。バルブ
ボディーの生産能力は年約450万
台から18年度以降に同520万台に
高まる見通し。新ライン導入で品質
向上や省人化を図った「自動化を進
める」(桂山社長)としている。



新ラインはバルブボ
ディーの冷却、バリ取
り、貫通部位の確認、
QRコードの読み込み
などを自動化する。作
業者が製品をより長く
確認できる時間も確保
した。投資額は約2億
円。新ラインは「新ライ
ン構築は生産技術の若
手社員がチャレンジし
てくれた。少子高齢化
の対応もあり、機械化
できるところは進めた

8000万円。
バルブボディーは自
動車の自動変速機(A
T)の動作に必要な油
圧を制御し、最適なエ
ンジンの回転動力を車
軸に伝達する部品。バ
リ取りには細かい箇所
の確認を手作業で行う
など熟練の技術が必要
となる。バルブボディ
ーを生産する800ト
ンのダイカストラインで
は、円滑な作業や検査
が新人には難しく、作
業者にも負担だった。
桂山社長は「新ライ
ン構築は生産技術の若
手社員がチャレンジし
てくれた。少子高齢化
の対応もあり、機械化
できるところは進めた
い」と話す。非接触の
3次元測定機なども導
入し、検査体制も強化
している。
アイシン北海道は16
年度から3年間で総額
30億円規模の設備投資
を見込む。ダイカスト
マシンを4台増やして
計24台体制にするなど
需要に対応する整備を
進めている。18年3月
期の売上高は約90億円
を想定し、21年3月期
には同100億円以上
を目指す。